平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月13日

上 場 会 社 名	株式会社アエリア	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3758	URL	http://www.aeria.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)小林　祐介	
問合せ先責任者	(役職名)取締役　管理本部長	(氏名)清水　明	TEL 03-3587-9574
四半期報告書提出予定日	平成25年８月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	400	△87.1	△294	―	△393	―	△352	―
24年12月期第２四半期	3,101	△19.7	△319	―	△338	―	△328	―

（注）　包括利益　25年12月期第２四半期　△271万円（　－%）　24年12月期第２四半期　△299百万円（　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年12月期第２四半期	△71　81	―　―
24年12月期第２四半期	△63　11	―　―

平成25年７月１日付けで普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	4,589	4,232	89.8
24年12月期	4,973	4,676	91.8

（参考）　自己資本　25年12月期第２四半期　4,119百万円　24年12月期　4,565百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年12月期	―	0　00	―	2,200　00	2,200　0
25年12月期	―	0　00			
25年12月期(予想)			―	―	―

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	1,440	△76.6	△228	―	△260	―	△300	―	△61　15

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

平成25年７月１日付けで普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、業績予想の１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

４．その他（詳細は【添付資料】P.４「２．サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

新規　－社　　除外　－社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	6,799,200株	24年12月期	6,799,200株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	1,913,000株	24年12月期	1,836,700株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	4,905,800株	24年12月期２Ｑ	5,209,600株

平成25年７月１日付けで普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表 ……5
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……11
(5) セグメント情報 ……11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12
(7) 重要な後発事象 ……12

※ 当社では、個人投資家向けの皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年６月30日）におけるわが国経済は、金融政策や経済政策を背景に、企業収益は製造業を中心として改善し、個人消費の持ち直しなどの緩やかな景気回復の動きが見られます。ただし、欧州諸国の債務問題等を背景とする海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属するオンラインゲーム関連市場は、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及による利用者数の拡大を背景に、引き続き順調に成長を続けております。これに伴って、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、各社の提供コンテンツやアプリケーションサービスはますます複雑化・高度化する傾向にあるなど、企業間におけるユーザー獲得競争は今後も激化するものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループはオンラインゲームの配信・運営事業を強化し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供してまいりました。

また、スマートフォンを含むモバイルコンテンツの開発分野にも注力し、各ライセンサーと協力を深めながら、多様化する顧客ニーズに合ったサービスの提供に努めてまいりました。

前連結会計年度からオンラインゲーム事業においてはAeria Games & Entertainment,Inc.、ITサービス事業においては株式会社スリーエスを連結除外したことにより、当第２四半期連結累計期間における売上高が減少しております。

その結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高400,573千円（前年同期比87.1％減少）、営業損失294,046千円（前年同期は営業損失319,001千円）、経常損失393,762千円（前年同期は経常損失338,221千円）、四半期純損失352,285千円（前年同期は四半期純損失328,813千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（オンラインゲーム事業）

オンラインゲーム事業につきましては、当社はオンラインゲームの配信を行っております。

新規タイトルのリリースが遅れており、また開発費の積極的な先行投資により費用が増加しております。

以上の結果、売上高は97,501千円（前年同期比96.3％減少）、営業損失は305,702千円（前年同期は営業損失334,475千円）となりました。

（ＩＴサービス事業）

ＩＴサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エアネットは安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は321,505千円（前年同期比42.0％減少）、営業利益は13,854千円（前年同期比65.3％減少）となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、営業損失2,132千円（前年同期は営業損失23,155千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、4,589,811千円で、前連結会計年度末に比べ383,827千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ479,448千円減少し、2,615,438千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ95,620千円増加し1,974,373千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ42,095千円増加し、295,355千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ17,725千円増加し、61,844千円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上並びに自己株式の買付等に伴い、443,648千円減少し、4,232,611千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ365,301千円減少し、2,057,326千円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は242,077千円（前年同期は314,947千円の増加）となりました。これは主に仕入債務の増加、法人税等の還付額等の増加要因があった一方で、税金等調整前四半期純損失の計上等の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は5,484千円（前年同期は489,301千円の増加）となりました。これは主に減少要因としてソフトウェアの取得による支出がありましたが、投資有価証券の売却による収入により増加しております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は172,249千円（前年同期は449,433千円の減少）となりました。これは主に自己株式の取得による支出及び配当金の支払額があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間及び通期につきましては、平成25年2月15日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成25年8月13日）公表の「営業外費用の計上及び第２四半期連結累計期間の業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425,630	2,060,331
受取手形及び売掛金	87,407	92,918
商品	2,877	2,538
短期貸付金	414,000	414,000
未収還付法人税等	6,614	456
繰延税金資産	702	1,680
その他	159,175	46,078
貸倒引当金	△1,521	△2,565
流動資産合計	3,094,886	2,615,438
固定資産		
有形固定資産	93,299	88,632
無形固定資産	15,250	180,170
投資その他の資産		
投資有価証券	594,763	696,740
関係会社株式	424,472	316,174
長期貸付金	604,057	604,057
繰延税金資産	5,696	6,357
その他	179,775	194,006
貸倒引当金	△38,562	△111,767
投資その他の資産合計	1,770,202	1,705,570
固定資産合計	1,878,752	1,974,373
資産合計	4,973,639	4,589,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,353	31,552
未払費用	129,970	152,109
未払法人税等	2,793	11,377
賞与引当金	500	600
その他	99,642	99,716
流動負債合計	253,260	295,355
固定負債		
繰延税金負債	25,062	41,873
退職給付引当金	10,069	10,905
資産除去債務	8,986	9,065
固定負債合計	44,119	61,844
負債合計	297,379	357,200

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	6,472,505	6,363,330
利益剰余金	△466,490	△818,776
自己株式	△1,700,778	△1,763,853
株主資本合計	4,542,007	4,017,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,954	110,874
為替換算調整勘定	3,560	△8,477
その他の包括利益累計額合計	23,515	102,397
新株予約権	1,748	1,748
少数株主持分	108,989	110,993
純資産合計	4,676,259	4,232,611
負債純資産合計	4,973,639	4,589,811

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	3,101,545	400,573
売上原価	2,295,242	388,522
売上総利益	806,303	12,051
販売費及び一般管理費	1,125,305	306,097
営業損失（△）	△319,001	△294,046
営業外収益		
受取利息	5,025	10,826
受取配当金	3,108	125
為替差益	8,015	18,434
負ののれん償却額	265	－
受取補償金	17,587	－
その他	7,347	6,424
営業外収益合計	41,350	35,809
営業外費用		
支払利息	4,255	－
持分法による投資損失	42,450	66,024
貸倒引当金繰入額	－	69,281
その他	13,862	220
営業外費用合計	60,569	135,526
経常損失（△）	△338,221	△393,762
特別利益		
固定資産売却益	83,695	1,000
投資有価証券売却益	33,674	51,155
関係会社株式売却益	36,737	－
新株予約権戻入益	75,100	－
持分変動利益	1,415	－
特別利益合計	230,622	52,155
特別損失		
固定資産除却損	569	－
減損損失	187,176	2,583
その他	263	－
特別損失合計	188,009	2,583
税金等調整前四半期純損失（△）	△295,608	△344,190
法人税、住民税及び事業税	27,950	7,730
法人税等調整額	2,321	△1,639
法人税等合計	30,271	6,090
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△325,879	△350,281
少数株主利益	2,933	2,004
四半期純損失（△）	△328,813	△352,285

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△325,879	△350,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,174	88,946
為替換算調整勘定	10,651	30,022
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,833	△40,085
その他の包括利益合計	25,993	78,882
四半期包括利益	△299,886	△271,398
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△302,820	△273,402
少数株主に係る四半期包括利益	2,933	2,004

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△295,608	△344,190
減価償却費	194,136	27,117
減損損失	187,176	2,583
長期前払費用償却額	2,017	363
のれん償却額	11,233	－
持分法による投資損益（△は益）	42,450	66,024
貸倒引当金の増減額（△は減少）	23,940	74,248
受取利息及び受取配当金	△8,133	△10,951
支払利息	4,255	－
持分変動損益（△は益）	△1,415	－
為替差損益（△は益）	△27,876	△22,062
固定資産売却損益（△は益）	△83,695	△1,000
固定資産除却損	569	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△33,674	△51,155
投資有価証券評価損益（△は益）	263	－
関係会社株式売却損益（△は益）	△36,737	－
新株予約権戻入益	△75,100	－
売上債権の増減額（△は増加）	32,732	△5,510
たな卸資産の増減額（△は増加）	△511	339
仕入債務の増減額（△は減少）	△24,592	11,198
その他	77,975	△6,244
小計	△10,592	△259,239
利息及び配当金の受取額	3,617	10,149
利息の支払額	△6,513	－
法人税等の還付額	378,207	15,866
法人税等の支払額	△49,772	△8,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,947	△242,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	－
有形固定資産の取得による支出	△68,643	△8,136
有形固定資産の売却による収入	891,146	－
無形固定資産の取得による支出	△356,514	△167,047
無形固定資産の売却による収入	－	1,000
投資有価証券の売却による収入	10,882	179,575
関係会社株式の取得による支出	△54,088	－
関係会社株式の売却による収入	40,909	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	－	92
その他	28,608	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	489,301	5,484

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△144,647	－
長期借入金の返済による支出	△3,246	－
社債の発行による収入	398,850	－
自己株式の取得による支出	△577,721	△63,074
配当金の支払額	△125,831	△109,175
新株予約権の発行による収入	1,748	－
少数株主からの払込みによる収入	1,415	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449,433	△172,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,695	43,541
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	377,511	△365,301
現金及び現金同等物の期首残高	2,474,608	2,422,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,852,119	2,057,326

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計（千円）	調整額（千円）（注１）	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注２）
	オンラインゲーム（千円）	ＩＴサービス（千円）	その他（千円）			
売上高						
（１）　外部顧客に対する売上高	2,596,061	498,176	7,307	3,101,545	－	3,101,545
（２）　セグメント間の内部売上高又は振替高	27,139	56,167	－	83,306	△83,306	－
計	2,623,200	554,343	7,307	3,184,851	△83,306	3,101,545
セグメント利益又は損失（△）	△334,475	39,920	△23,155	△317,711	△1,290	△319,001

（注）１．　セグメント利益又は損失の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第２四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

当第２四半期連結累計期間において、連結子会社であるアエリアエステートの保有する不動産を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ「その他」セグメントの資産が807,451千円減少しております。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第２四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、187,176千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第２四半期連結累計期間において、Aeria Games & Entertainment,Inc.の普通株式を取得したことによりのれんを認識しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、39,729千円となっております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計（千円）	調整額（千円）（注１）	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注２）
	オンラインゲーム（千円）	ＩＴサービス（千円）	その他（千円）			
売上高						
（１）　外部顧客に対する売上高	96,097	304,475	－	400,573	－	400,573
（２）　セグメント間の内部売上高又は振替高	1,403	17,030	－	18,433	△18,433	－
計	97,501	321,505	－	419,006	△18,433	400,573
セグメント利益又は損失（△）	△305,702	13,854	△2,132	△293,979	△66	△294,046

（注）１．セグメント利益又は損失の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第２四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、2,583千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

(株式分割及び単元株制度)

当社は、平成25年１月25日開催の取締役会において、株式分割の実施及び単元株制度の採用を決議し平成25年７月１日付をもって実施、採用いたしました。

１．株式分割及び単元株制度の採用の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、証券市場の流動性及び利便性の向上を図るため、当社の株式の売買単位を100株といたします。

これに伴い、当社株式１株を100株に分割するとともに単元株制度を採用いたします。

２．株式分割の概要

(１)分割の方法

平成25年６月30日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式１株につき、100株の割合をもって分割する。

(２)分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数	67,992株
今回の分割により増加する株式数	6,731,208株
株式分割後の当社発行済株式総数	6,799,200株

株式分割後の発行可能株式総数　　11,340,000株

(3)効力発生日　　平成25年７月１日

３．単元株制度の概要

(1)採用する単元株の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

(2)効力発生日　　平成25年７月１日

(自己株式の消却)

当社は、平成25年8月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

１．消却する株式の種類

当社普通株式

２．消却する株式の数

1,500,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合　22.06％）

３．消却予定日

平成25年８月20日

４．消却理由

発行済株式数の減少による資本効率の向上、更には株主利益の増大を図るために一部を消却いたします。